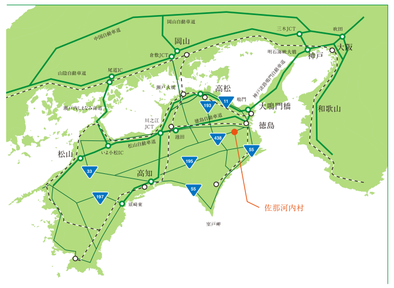
佐那河内村 文化財マップ

さなごうち文化財
88ヶ所巡り
Sanagochi Cultural Assets Map



■陸路　自動車

大阪――徳島［約2時間10分］
明石海峡大橋経由

岡山――徳島［約3時間30分］
瀬戸大橋経由

徳島市―佐那河内村［20分］
国道438号

鳴門市―佐那河内村［50分］
国道55号、国道438号

■陸路　JR

大阪――徳島［約3時間15分］
瀬戸大橋経由/新幹線・直通特急利用

岡山――徳島［約2時間10分］
瀬戸大橋経由/直通特急利用

■陸路　高速バス

京都――徳島［約2時間50分］

大阪――徳島［約2時間35分］

新神戸―徳島［約2時間］
※その他、東京、名古屋、広島、岡山路線などあり

■航空路

東京――徳島［1時間20分］

福岡――徳島［1時間］

■海路　フェリー

和歌山―徳島［2時間］

東京――徳島［18時間10分］

北九州―徳島［14時間30分］

さち香る　風の谷
SANAGOCHISON

発行日 / 令和8年8月10日 改訂版
発行 / 佐那河内村企画政策課
〒771-4195 徳島県名東郡佐那河内村下字西ノハナ31番地
TEL:088-679-2973 FAX:088-679-2125
https://www.vill.sanagochi.lg.jp

〈表紙は大宮八幡神社由緒〉

17 尾尻の八坂神社

影にある八坂神社は素戔嗚尊を祀る。社殿は三間切妻瓦葺きで、現在の鳥居は平成9年（1997）に尾尻氏子中が立てたものである。社殿の裏には地神塔がある。

18 人形遣いの墓

八坂神社本殿裏の窪地に淡路島出身の人形遣いの墓がある。台座に、宝暦7年（1757）12月25日の日付と「淡州三原郡市組三条村道薫坊廻ジ太郎松儀」が当地で亡くなったことが刻まれている。

21 御間都比古神社

御間都比古色止命を祭神とする延喜式内小社である。昭和10年（1935）に社殿が改築された。現在は4月の第1日曜日に祭礼が執り行われている。

22 秋葉神社

丸田にあり、火産霊神を祀る。一間社流作の社殿で、2月1日に火伏の神事を行う。境内に寛政元年（1789）と刻まれた地神塔が立つ。

23 丸田のたおの地蔵尊

丸田と高樋を結ぶ峠道の秋葉神社近くに2体の地蔵尊が祀られている。台座に文政12年（1829）の年号と「嵯峨講中」が世話人と刻まれている。

24 中峯の八坂神社

中峯の尼根上にあり素戔嗚尊を祀る。社殿は一間社流作で銅板葺きである。その脇には明治9年（1876）に建てられた地神塔がある。

25 観音庵（中分庵）

中峯にあり、享保9年（1724）開基で観世音菩薩が祀られている。中分庵ともよばれる。改築されて今は桟瓦葺きである。脇に梵字の彫られた石塔がある。

27 嵯峨天一神社

祭神は天照皇大神・月読命・大白星神で、弘仁3年（812）に勧請されたと伝えられる。永禄11年（1568）の再建棟札がある。境内には寛政元年（1789）の地神塔が立てられている。

28 開富源

嵯峨天一神社の一画に立つ。大正13年（1924）1月に嵯峨名によって立てられたもので、嵯峨から寺谷までの道路開鑿がなされた経緯と労苦が刻まれている。

29 宝蔵寺

字中溝にある真言宗寺院。元和年間（1615～1624）の開基。地蔵菩薩や不動明王などを祀る。宝暦14年（1764）築造の大師堂のほか、山門（鐘楼門）などがある。背後の墓地に板碑もある。

31 阿州十五景之碑

嵯峨川沿いの「四国の道」が徳円寺に向かう急坂の手前にある。昭和初期に徳島日日新報社が御大典記念に実施した「阿州十五景」の1つに嵯峨渓谷が選出されたことを記念したものである。

32 徳円寺

嵯峨川上流、杖立権現越近くの字壁ヶ嶽にあり、文政7年（1824）に加賀国出身の徳円上人によって開基された浄土宗寺院である。本堂や如来堂周辺はシャクナゲが群生している。

40 秩父観音庵と板碑群

根郷谷の字日浦にあり、正徳3年（1713）開基と伝わる。戦後、根郷の観音庵と合祀された。観世音菩薩などが祀られている。境内に22基の板碑が立てられている。

42 中学校敷地拡張の記念碑

西ノハナの山林を開墾して中学校の敷地を拡張した記念として、昭和30年（1955）に建立された。中学校が移転し、役場庁舎が新築された現在は、消防センター前に移設されている。

43 窪田清左衛門記功碑

窪田は村会議員・名東郡会議員を務め、現在の農業協同組合の礎を築いた。功績を記した碑は昭和12年（1937）に旧役場前に建てられたが、現在は国道438号沿いに移されている。

53 白尾（井開名）の観音庵

井開白尾線沿いにある。境内にある光明真言供養塔は明治23年（1890）のもので「北山・中畑・井貝」地区の人名が見える。文政2年（1819）の地蔵尊や平地と刻まれた常夜燈もある。

54 中畑の廻国供養塔

中畑蝮塚集会所脇にある。「秩父坂東神社仏閣廻国供養塔」は元治元年（1864）のもので、並んで立てられている地蔵尊は「中畠名」の講中によって寛延3年（1750）に造立されたものである。

55 中畑・蝮塚の地神塔

中畑蝮塚集会所のある小丘から南にある山腹にある。集落の東端にあり、常夜燈と並んで立てられている。

64 天岩戸別神社

牛木屋にあり、天手力雄神・天照皇大神・豊受大神を祀る3小祠が祀られており、「三社さん」とも呼ばれている。現在の社殿は昭和13年（1938）造営だが、享保9年（1724）の棟札がある。

66 北の宮神社

字北山にあり、天御中主神が祀られている。この神は、江戸時代に北極星の神格化である妙見菩薩と習合して以降に祀られるようになったと言われている。脇の百度石には大正11年とある。

67 仁井田の板碑

仁井田神社の境内にあり、元徳3年（1331）の銘がある地蔵菩薩立像板碑である。地蔵尊に光背をもつ構図は全国的にも珍しく、昭和60年（1985）に村指定文化財となった。

33 杖立権現

徳円寺背後の勝浦町境の峠にあり、登り道で用いた杖をここに納める習慣があったことから、かつては祠に多くの杖が立てかけられていた。

34 天満宮

高樋公民館の東にあり、菅原道真が祀られている。延享4年（1747）創建と伝えられる。大宮八幡神社の例大祭にあわせて祭礼が執り行われている。

35 滝ノ宮神社・杉ノ宮神社

根郷農村公園の一画にある。滝ノ宮神社は素戔嗚尊を祀り、一間社流作の神殿である。芝生にあった応神天皇を祀る杉ノ宮神社が遷座され合祀されている。

44 妙見神社（下中辺）

中辺にあり、薬師庵と並んで建てられている。一間社流造で板葺折屋根の社殿である。鳥居には大正2年（1913）と刻まれている。

45 薬師庵

中辺にあり、かつてあった「中辺七塔」の1つである薬師寺が再建されたものと伝えられている。薬師三尊・不動明王・毘沙門天・地蔵大菩薩が祀られている。

47 大黒の石造物群

大黒地区の園瀬川沿いに、圃場整備事業（新農業構造改善事業）の記念碑があり、かつて散在していた地神塔や牛魂碑なども集められた。

56 蝮塚峠（蛇紋岩露頭）

御荷鉾緑色岩類の分布域である蝮塚峠には県下で有数の蛇紋岩の露頭がある。岩の表面が蛇の皮膚に似ていることからこの名称があり、磁性鉱物を含む岩石である。

57 安芸守神社・地神塔

奥野にある石造の小社殿である。傍に地神塔も立つ。土佐国安芸氏の祖安喜十郎実秀の曾孫実光と康光を祀ったもので、ここにあった桜を刈ると祟りがあるという伝説があった。

59 長願寺

字久保井にある真言宗寺院。明応年間（1492～1501）の開基と伝わる。延命地蔵菩薩や弘法大師像などが祀られる。境内には貞治2年（1363）の板碑や芭蕉の句碑がある。

69 西府能の若宮神社

応神天皇を祀る若宮神社は一間社見世棚造であり、境内脇には地神塔も建てられている。現在の鳥居は大正12年（1923）に造立された。

70 林道奥川股線改修記念碑

府能橋西詰にあるこの碑は昭和12年（1937）4月に建てられたもので、岡本嘉一郎らの尽力で産物搬出のための林道を開設したことを記念するものである。

71 枕状溶岩の露頭

海底で高温の溶岩が海水で急冷されてできる枕を積み重ねたような形状の溶岩。園瀬川上流域の府能に露頭している。県内でも稀な事例である。

36 大宮八幡神社

高樋に所在する旧郷社。主祭神は八幡大神・足仲彦天皇・姫大神などで、境内社として猿田彦神社と豊玉姫を祀る祠がある。境内に乳銀杏や椰の神木があり、毎年10月に例大祭が執り行われている。

37 新道記念碑

大宮八幡神社前、国道438号に臨んで建てられている。吉永富太郎らの尽力で一ノ瀬から府能まで車道が開かれたことを記念して大正14年（1925）に建てられた。

39 安喜古墳

下字中浦にあり、根郷古墳ともよばれている。5世紀代に築造された横穴式石室の円墳で、忌部山型古墳と同形式の穹窿式の構造である。石室内に石仏や板碑が祀られ再利用されている。

48 青蓮寺

字南野にある真言宗寺院。阿弥陀如来・不動明王・弘法大師像などが祀られる。入母屋造り銅板葺の本堂に山門（鐘楼門）がある。

51 朝宮神社

宮前にあり、祭神は天照皇大神・荒魂・瀬織津姫。明応元年（1492）に現在地に遷座、佐那河内城主の野田氏に崇敬されたと伝わる。境内には旧宮前青年会館の故地を示す碑もある。

52 井開の地神塔

府能バイパスの北側にあり、道路からも見える場所にある。常夜燈と並んで立つ地神塔の台石には文政5年（1822）と刻まれている。

61 地神山のこづき地蔵尊

田中橋の南側のバイパス沿いの山裾に祀られている地蔵尊は、亡くなった嘔息もちの遍路をここで葬ったためにこづき（嘔息）の治癒を祈る信仰が生まれたと言われている。

62 秋城の地神塔

田中のこづき地蔵脇を登ると秋城の地神塔がある。台座に「府能名／府能尻名／奥野々名／中村名／井貝名」と刻まれており、広域の人々によって祀られていたことを示している。

63 奥野々の光明真言供養塔

「奥野々名中」によって明治13年（1880）に造立されたもので、傍らには石仏がある。その下部にも「明治」と刻まれている。

72 府能嶺隧道

大正12年（1923）に竣工した佐那河内村と神山町鬼籠野を結ぶ隧道。煉瓦積みで、飾り石などの丁寧な意匠が施されている。平成29年（2017）に土木学会から「選奨土木遺産」に選定されている。

73 旧府能峠

府能嶺隧道を神山側に抜けて右折すると「法印のたお」とよばれる旧府能峠がある。杉の大木の根元に祠と「牛頭天王」「世話人　椎野國八」と刻まれた手水鉢がある。

76 尾葉古のたおの石造物群

旭ヶ丸の西にある「天岩戸別神社」の道標を南に折れると「尾葉古のたお」に至る。そこに光明真言塔や不動明王などが立てられている。不動明王像の側面は「梅之木」とあり、道標でもある。

1 一ノ瀬の不動明王

国道438号沿いの擁壁に祀られている。慶応3年（1867）に造立されたもので、脇侍の矜羯羅童子の台座には「施主　尾山」とある。

3 尾境の光明真言供養塔

尾境のバス停の山裾にある。明治26年（1893）に尾境名の女講中によって造立されたもので、中央に「光明真言百萬遍供養」と彫り込まれている。

4 かんすいさん

尾境の集落内に六地蔵尊と並んで「かんすいさん」とよばれている石造物が立てられている。「寒水浄空居士」と刻まれており、地元では歯痛に効力があると敬われてきた。

5 尾境の若宮神社

一間社流造の小社で、社殿前には勧請された大山祇神社と白鳥神社の小祠がある。また明治34年（1901）2月造立の地神塔もある。

6 尾境城跡

戦国時代には三好長治の家臣東條氏が拠ったと伝えられている。園瀬川が北に蛇行する川面に突出した独立丘陵が城跡の伝承地である。直下の深い淵は「城ヶ淵」とよばれている。

7 高樋の地神塔・瑜伽神社

高樋峠西側の山裾にある。地神塔は寛政元年（1789）とあり、「高露／尾堺／講中」と刻まれている。瑜伽神社は火災や盗難除けに霊験があり、山頂付近にあったものがここに遷された。

9 法華経板碑

県道18号沿いに立てられており、地元では「法華経板碑のお陰でこの地区には落雷がない」との伝承がある。法華山正覚院中興四世権大僧都幸元が造立したと伝えられている。

12 八王子神社

寺谷にあり、素戔嗚尊を祀る。地元では「寺尼庵」ともよばれており、寺尼名中の産土神でもある。2月1日にお湯立て神事が行われる。社前の地神塔は菅沢地区から移されたもの言われている。

15 石敢当

邪悪を払う霊力・呪力を石に認める在来の信仰と中国の信仰が習合した石敢当は九州南部から沖縄にかけて広く分布している。寺谷のものは谷泉正吉氏が災厄を招かないように立てたものである。